

2024 年度 第 7 回

ホテル・マネジメント技能検定

1 級	学科試験
-----	------

問題用紙

実施日:2024 年 9 月 8 日(日)

試験時間:120 分

注意事項

1	問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開かないでください。
2	試験監督の指示の後、問題用紙、解答用紙、配付資料のそれぞれの表紙に受検番号(10 桁)、氏名を記入してください。解答用紙に受検番号(10 桁)、氏名のないもの、間違ったものは失格になります。
3	解答用紙、配付資料は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。問題用紙は持ち帰って結構です。解答用紙を試験終了後、試験会場から持ち出した場合は失格になります。
4	問題用紙、解答用紙、配付資料の封入は外さないでください。
5	問題用紙配付資料への書き込みは許可されています。
6	問題はすべて、2024 年 4 月 1 日の時点ですでに施行(法令の効力発効)されている法律に基づいて解答してください。
7	印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合には、申し出てください。
8	携帯電話、スマートフォンなどの通信機能を有する機器は、電源を切ってカバン等へしまってください。試験時間中に携帯が鳴った場合は、本人の同意を得ず、試験監督が携帯の入ったバッグ等を試験場外に持ち出します。この場合、その携帯を保有する受検生は失格となることがあります。
9	机の上には、受検票、筆記用具、時計、計算機(電卓)以外のものは置かないでください。通信機能、辞書、メモ機能がついている計算機・時計等の使用を認めません。上記機能が付いている場合、又はその疑いがあるものについては試験時間中、上記記載の機能の有無について尋ねたり、試験監督の方で預かることがあります。この場合は、試験監督の指示に従って下さい。なお、計算機を忘れた場合には、試験の問題は手計算でお願い致します。
10	不正防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
11	試験問題の音読は慎んでください。電卓を使用する際は、大きな音をたてないようにしてください。
12	試験開始の 30 分経過後は退室できます。ただし、試験時間終了の 10 分前は退室できません。
13	退室の際は、解答用紙を裏返し、配付資料を机の上に置き、忘れ物がないように荷物を持って退室してください。なお、退室後は廊下等での私語は慎んで、速やかに退館してください。

受検番号										氏名	

問 1. 厚生労働省の諮問機関である中央最低賃金審議会が今年 7 月に決定した、全国平均の最低賃金（時給）の目安はどれか。（配点:1 点）

- ① 1,004 円 ② 1,054 円 ③ 1,104 円 ④ 1,154 円

問 2. 厚生労働省が公表した今年 6 月の「毎月勤労統計調査」に関して、実質賃金と名目賃金についての前年同月比の説明として適当なものを選びなさい。（配点:1 点）

- ① 名目はアップ、実質はダウン ② 名目はダウン、実質はアップ ③ 名目・実質ともにダウン
④ 名目・実質ともにアップ

問 3. 日本人の一人当たりの国民総生産は先進国の中でどのレベルにあるか。（配点:1 点）

- ① 上位 5 カ国以上 ② 上位 6 カ国以下かつ 10 カ国以上 ③ 上位 11 カ国以下かつ 15 カ国以上
④ 16 位以下

問 4. 令和 6 年版の観光白書によれば国内の宿泊業の労働生産性は全産業の平均と比較した場合、どのレベルか。（配点:1 点）

- ① 120%以上 ② ほぼ同等 ③ 90%程度 ④ 70%以下

問 5. 「GOP（Gross Operating Profit）」の説明について最も適当なものを選びなさい。（配点:2 点）

- ① ホテルの売上高から宿泊・料飲等の営業部門のみで要した費用を差し引いた収益
② レストランなどの売上から食材費を差し引いた収益
③ 償却前営業利益からローンの利子や税金、減価償却費などを差し引いた収益
④ ホテルの減価償却費などの固定資産などにかかる経費を控除する前の営業利益

問 6. 次の選択肢のうち、1998 年当時のザ・リッツ・カールトン・バリのオーナー（KMS 社）が、オペレーター（マリオット・インターナショナル）が近隣に開業したことで、ホテル運営委託契約に規定される競合条項に違反すると主張した対象のホテルを選びなさい。（配点:1 点）

- ① ブルガリ・バリ ② コートヤード・バイ・マリオット・バリ
③ モクシー・バリ ④ ウォルドルフ・アストリア・バリ

問 7. あるビジネスホテルの客室のレベニューマネジメントの手法として、稼働が数か月前からすぐ埋まるようなことはないが、稼働率着地点が 90%見込みの宿泊日において、下記のうち、どれが妥当であるか。なお、このホテルのキャンセル料は、特に説明のない限り宿泊当日の 1 日前から発生する。(配点:2 点)

- ① 宿泊日の相当前の期間はキャンセル不可な割安価格で予約受注を開始し、稼働を上げながら徐々に単価を上げ、残室数が減ってきたら宿泊日当日に向けて、なるべく高値で売る。
- ② 市場内における競合他社の値動きや稼働状況に惑わされる必要はない。
- ③ トラベルエージェントに半年以上前にほとんどの客室を提供し販売を任せ、宿泊当日の 2 週間前に売れ残り分を最安値で提供して空室を出さないようにする。
- ④ 直前のキャンセルに備えて、オーバーブッキングはいくらあっても取りすぎることはない。

問 8. ホテル運営委託契約に規定されるパフォーマンス条項で、業績不振の責任がホテル会社（オペレーター）にあるかどうかの判断基準として用いられることの多いものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① プロフィットテストのみ ② プロフィットテスト及び RevPAR テストの両方
- ③ RevPAR テストのみ ④ プロフィットテスト及び RevPAR テストのいずれかをケースにより選択

問 9. ホテル運営委託契約に規定されるパフォーマンス条項で、ホテル会社（オペレーター）が契約解除を回避するために与えられる救済策として多いものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① オペレーターとオーナーで予算 GOP の不足分を折半して補填する。
- ② オーナーが予算 GOP の不足分の一定割合を補填する。
- ③ オペレーターが予算 GOP の不足分の一定割合を補填する。 ④ 上記①～③のいずれも適切でない。

問 10. ホテル産業を競争環境や流通環境を分析する際、使われる 3C 分析に該当しないものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① Customer ② Conductor ③ Company ④ Competitor

問 11. アコーの運営するホテルブランドでないものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① イビスタイルズ ② ラッフルズ ③ ダブルツリー ④ フェアモント

問 12. マリオットの運営するラグジュアリーブランドを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① エディション ② リッツカールトン ③ セントレジス ④ 全てあてはまる

問 13. 2023 年ユニゾグループのホテルポートフォリオを購入した投資ファンドを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① GIC ② ブラックストーン ③ KKR ④ フォートレス

問 14. 2023 年末時点で、世界でもっとも多く会員数を誇るロイヤルティプログラムを擁するホテルチェーンを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① ハイアットホテルズ ② ヒルトン・ワールドワイド ③ マリオット・インターナショナル
④ インターンコンチネンタルホテルズグループ

問 15. ダイワハウスグループ（売却した旧大和リゾートも含む）がリブランド先として選択していない外資系ホテルオペレーターを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① アコー ② ヒルトン・ワールドワイド ③ マリオット・インターナショナル
④ インターンコンチネンタルホテルズグループ

問 16. 2024 年 8 月の第 1 週に起きた日本の株式市場の大暴落とその後の株価の乱高下の直接的な原因として適当でないものを選びなさい。(配点: 2 点)

- ① 日銀による金利アップ ② 国内最低賃金のアップ ③ 米国の景気減速 ④ 急速な円高回帰

問 17. 建築の構造について正しいものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① SRC 造とは鉄骨造であり、多くの建物に採用されている。
② RC 造とは鉄筋コンクリート造であり、多くの建物に採用されている。
③ S 造とは鉄骨鉄筋コンクリート造であり、高層建築に採用されている。
④ 高層建築は耐火性能を要求され、木造で造ってはならない。

問 18. 設備について正しいものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① ホテルの客室の空調は、ルームエアコンが最も快適である。
- ② ホテルの客室の空調は、ビルマルチ方式の冷暖フリーが最も快適である。
- ③ ホテルの客室の空調は、4 管式空調方式が最も快適である。
- ④ ホテルの客室の空調は、換気方式が最も快適である。

問 19. 建築法規について正しいものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 容積率は、道路の幅員に関係なく、指定された容積率で構わない。
- ② 建ぺい率は、建物の構造、道路の接道に関わらず緩和規定はない。
- ③ 建物は、道路斜線、隣地斜線をいかなる場合においても超えてはならない。
- ④ 建物の天空率を計算することにより、道路斜線、隣地斜線を超えてもかまわない。

問 20. 旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 旅館業法は、第二次世界大戦後に成立した宿泊業の法的枠組みの中心となっている法律であり、観光庁が所管する法律である。
- ② 旅館業法上、「旅館業」は、3 種類に分類されており、「旅館・ホテル営業」、「簡易宿所営業」、「民泊営業」に分類されている。
- ③ 簡易宿所営業の施設は、客室の延床面積が 33 m²以上あることが必要であるが、宿泊者数が 10 人未満の場合、3.3 m²に当該宿泊者数を乗じて得た面積であればよい。
- ④ 旅館業は、「宿泊料を受けること」が要件となっているため、寝具や部屋の使用料とは異なる、光熱水道費、室内清掃費などの名目の場合、宿泊料とは認められない。

問 21. 令和 5 年 12 月 13 日に改正された旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）に関する次の記述のうち、妥当でないものを選びなさい。(配点: 2 点)

- ① 宿泊しようとする者が、宿泊サービスに従事する従業員に対し、不当な割引、契約にない送迎等、過剰なサービスの要求を繰り返す場合、宿泊を拒否することができる。
- ② 宿泊しようとする者が、宿泊サービスに従事する従業員に対し、障害のある方が社会の中にある障壁の除去を求める行為を繰り返す場合、宿泊を拒否することができる。
- ③ 宿泊しようとする者が、宿泊サービスに従事する従業員に対し、対面や電話等により、長時間にわたり、不当な要求を行う行為を繰り返す場合、宿泊を拒否することができる。
- ④ 宿泊しようとする者が、宿泊サービスに従事する従業員に対し、要求の内容の妥当性に照らして、当該要求を実現するための手段・態様が不相当なものを繰り返す場合、宿泊を拒否することができる。

問 22. 住宅宿泊事業法（平成 29 年法律第 65 号）に関する記述として正しいものを選びなさい。（配点：1 点）

- ① 住宅宿泊事業法により、住宅宿泊事業を営もうとする者が、都道府県知事の許可を得ることにより適法に宿泊事業を営むことができる。
- ② 住宅宿泊事業法に基づく民泊サービスは、「住宅」を活用した宿泊サービスの提供であるが、周辺地域の風俗・治安維持の観点から、都市計画法で定められている用途地域の制限の適用を受けることとなる。
- ③ 住宅宿泊事業法に基づく民泊サービス提供の年間上限日数は、既存の旅館・ホテルとの競争条件にも留意した結果、年間営業は認められず、100 日（泊）以内とされ、自治体毎に日数を増減することはできない。
- ④ 民泊サービスの形態は、家主居住型と家主不在型の 2 類型に分けることができるが、家主不在型の民泊では、住宅提供者が住宅宿泊管理業者に管理を委託することが必要である。

問 23. 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）に関する記述として正しいものを選びなさい。（配点：2 点）

- ① 「防災管理者」とは、多数の者が利用する建物などの「火災等による被害」を防止するため、防火管理に係る消防計画を作成し、防火管理上必要な業務（防火管理業務）を計画的に行う責任者をいう。
- ② 「防火管理者」とは、大規模・高層の建築物等（防災管理対象物）において、地震その他の「火災以外の災害」による被害を軽減するため、防災管理に係る消防計画を作成し、防災管理上必要な業務（防災管理業務）を計画的に行う責任者をいう。
- ③ 「特定防火対象物」に該当する旅館、ホテルは、年 2 回の消防用設備の点検と所轄消防署への 1 年に 1 回の点検結果の報告が義務付けられている。
- ④ 「適マーク制度」とは、宿泊施設からの申請の有無にかかわらず、消防機関が職権で、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合しているかどうかを審査した結果、基準に適合していると認められた建物に対し交付する制度である。

※問 24 から 40 は日本経済新聞の 8 月 9 日付朝刊から抜粋した 2 つの記事である（2024 年 6 月を含む数値は速報値ベース、一部原文より編集）。下記の設問に答えなさい。

記事 1

財務省が発表した 2024 年上半期（1～6 月）の国際収支統計速報値によると、海外とのモノやサービス、投資の取引状況全体を示す経常収支の黒字額は前年同期比 59.2%増の 12.7 兆円で、上期としては過去 2 番目の規模となった。経常収支は、輸出から輸入を差し引いた「貿易収支」、外国との投資のやり取りで得られる収益を表す「第一次所得収支」、および旅行収支を含む「サービス収支」などで構成される。これらの主な内訳は貿易収支が 2.6 兆円の赤字、第 1 次所得収支は 19.2 兆円の黒字、サービス収支は 1.7 兆円の赤字であった（なお、これらの合計額以外にその他の項目もあるため、上記の 12.7 兆円とは一致しない）。

問 24. 第一次所得収支が伸びた原因として適当でないものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① 国内企業の製造拠点が海外移転を推進した。
- ② 米国の金利高で債権利子の受け取りが増えた。
- ③ 歴史的な円安傾向で円換算額を底上げした。
- ④ バブル期最高値を超えた日本市場の株高に海外から多くの資金が流入した。

問 25. 貿易収支の赤字の説明について、適当でないものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 国内企業の製造拠点が海外移転を推進した。
- ② 歴史的な円安傾向で輸出が伸びなかった。
- ③ 資源価格が依然高い水準にある。
- ④ 最大貿易国である中国の景気鈍化や国際紛争も影響している。

問 26. サービス収支の説明について、適当でないものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① 旅行収支の黒字額は貿易収支の赤字額とほぼ同額の約 2.6 兆円である。
- ② 旅行収支の黒字額は半期としては過去 2 番目の高い水準である。
- ③ 旅行収支の黒字額はコロナ前の 2019 年より高い水準である。
- ④ サービス収支が赤字である原因のひとつとして、海外 IT 企業へのデジタルサービスの使用料支払いなどのデジタル赤字の拡大が挙げられる。

記事 2

不動産データ分析大手、米国コスター・グループ傘下の STR がまとめた 6 月の国内ホテルの平均客室単価は前年同月に比べて 17.2%高い【㉗】だった。【㉘】

客室単価は 1996 年の調査開始以降、6 月としては最高だった。稼働率も前年同月比 2.1 ポイント高い【㉙】だった。

訪日観光客は高い稼働率を支えている。日本政府観光局(JNTO)によると、6 月の訪日客数は【㉚】だった。前年同月に比べて【㉛】増え、単月の実績としては 1964 年調査開始以降で最多だった。6 月は大きく円安ドル高が進んだ。6 月 28 日には東京外国為替市場で一時 1 ドル【㉜】まで下落し、37 年半ぶりの円安水準をつけた。日本観光の割安感が強まり、欧米やアジアから大勢の観光客が押し寄せた。

国内の宿泊客は【㉝】1 月から 6 月の【㉞】地方と【㉟】地方の稼働率は前年同期と比べ下がり、客室単価の伸びも僅かである。

問 27. ㊦に入る客室単価から STR 社の対象は高級ホテルの категорияが多いと推測できる。㊦に入る最も適当な数値を選びなさい。(配点:1 点)

- ① 5 万円 ② 2 万円 ③ 1.5 万円 ④ 1 万円

問 28. ㊩に入る適当な表現を選びなさい。(配点:1 点)

- ① 前年同月の上昇率を大幅に上回る、高い伸び率が続いている。
② 前年同月の上昇率を上回る、伸び率が続いている。
③ 前年同月の上昇率より縮小したが、高い伸び率が続いている。
④ 前年同月の上昇率より縮小したため、伸び率も大幅に低下している。

問 29. ㊪に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 65% ② 75% ③ 85% ④ 95%

問 30. ㊫に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 281 万人 ② 292 万人 ③ 303 万人 ④ 314 万人

問 31. ㊬に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① 25% ② 50% ③ 75% ④ 100%

問 32. 上半期(1-6 月)の累計インバウンド数に近いものを選びなさい。(配点:1 点)

- ① 1,678 万人 ② 1,728 万人 ③ 1,778 万人 ④ 1,828 万人

問 33. 2024 年の 1 月から 6 月の半年間の日本へのインバウンド数が、最も多かった国または地域はどれか。またその国または地域からのインバウンド数全体に占める割合はどの程度か。組み合わせとして正しいものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 中国、30% ② 韓国、25% ③ 台湾、22% ④ 香港、20%

問 34. 2024 年の 1 月から 6 月の半年間の日本へのインバウンド数が昨年と比較して最も増加した国または地域を選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 中国 ② 韓国 ③ 台湾 ④ 香港

問 35. ㉗に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 158 円台 ② 159 円台 ③ 160 円台 ④ 161 円台

問 36. 2024 年 6 月の単月インバウンド数が過去最高になった円安以外の理由として正しい説明はどれか。最も適当なものを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 海外の学校休暇 ② 直行便・地方路線の増便
③ 一部の国からの団体旅行の解禁や査証免除措置 ④ すべて適当である

問 37. ㉙に入る適当な表現を選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 客室単価の高騰もあり、需要に一服感が出ている。とりわけ、
② 客室単価の高騰もあり、需要は停滞している。特に、
③ 客室単価の高騰にもかかわらず、需要は堅調である。なお、
④ 客室単価の高騰にもかかわらず、大きく上昇している。一方で、

問38. ㉚と㉛に入る地方の組み合わせを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 北海道、沖縄 ② 東北、中国・四国 ③ 首都圏、近畿圏 ④ 東海、北陸

問 39. 昨年 3 月に策定された第 4 次観光立国推進基本計画では訪日旅行促進のための 3 つの柱が示されている。この 3 つの柱として適当でないものを選びなさい。(配点: 2 点)

- ① 持続可能な観光 ② 消費額拡大 ③ 5 スターホテルの国立公園への誘致 ④ 地方誘客促進

問 40. 好調なインバウンドと比べて、2024 年 1 月～6 月の国内からの出国者数とコロナ前の 2019 年同時期と比べた割合はどの程度か。正しい組み合わせを選びなさい。(配点: 1 点)

- ① 580 万人、6 割 ② 680 万人、7 割 ③ 780 万人、8 割 ④ 880 万人、9 割

※問 41～問 60 は、下記の A・B・C ホテルの営業状況をまとめた【表 1】 および C・Dホテルの客室タイプ別営業状況をまとめた【表 2】 をもとに答えなさい。ただし、いずれの年度も 1 年間のホテルの営業日の日数は、365 日とし、A・B・C・D ホテルの所在は同じ都市である。

【表 1】 A・B・C ホテルの 20X3 年度営業状況

	ホテルA		ホテルB		ホテルC		合計
営業日数(閏年は考慮に入らず)							
宿泊部門							
基本客室数	400 室		500 室		600 室		1,500 室
平均客室面積	40 m ²		20 m ²		15 m ²		
販売可能室数	146,000 室		182,500 室		219,000 室		547,500 室
販売室数	120,000 室		160,000 室		200,000 室		480,000 室
宿泊人員	200,000 人		200,000 人		220,000 人		620,000 人
客室稼働率	82.2%		87.7%		91.3%		
稼働室単価 (ADR)	23,333 円		14,375 円		10,000 円		
客単価	14,000 円		11,500 円		9,091 円		
1 日室当売上 (RevPAR)	19,178 円		12,603 円		9,132 円		
稼働室当利用人員 (DOR)	1.67 人		1.25 人		1.10 人		
(売上・経費の金額単位: 千円)	(総売上比)		(総売上比)		(総売上比)		
宿泊部門売上 (客室売上のみ)	2,800,000	28%	2,300,000	46%	2,000,000	95%	7,100,000
料飲部門売上	7,200,000	72%	2,700,000	54%	100,000	5%	10,000,000
売上合計	10,000,000	100%	5,000,000	100%	2,100,000	100%	17,100,000
宿泊部門変動費	840,000	8%	575,000	12%	400,000	19%	
レストラン部門変動費	3,600,000	36%	1,080,000	22%	30,000	1%	
変動費合計	4,440,000	44%	1,655,000	33%	430,000	20%	
宿泊部門固定費	800,000	8%	500,000	10%	450,000	21%	
レストラン部門固定費	2,500,000	25%	1,000,000	20%	40,000	2%	
固定費合計	3,300,000	33%	1,500,000	30%	490,000	23%	
宿泊部門配賦前GOP	1,160,000	12%	1,225,000	25%	1,150,000	55%	
レストラン部門配賦前GOP	1,100,000	11%	620,000	12%	30,000	1%	
配賦前GOP合計	2,260,000	23%	1,845,000	37%	1,180,000	56%	
共通配賦費用合計	1,000,000	10%	500,000	10%	200,000	10%	
配賦後GOP		13%	1,345,000	27%	980,000	47%	

問 41. この都市の 20X3 年度平均稼働率に最も近い稼働率となったホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ いずれでもない

問 42. この都市の 20X3 年度の平均客室単価に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 14,000 円 ② 14,500 円 ③ 15,000 円 ④ 15,500 円

問 43. この都市の 20X3 年度の 平均 RevPAR に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 12,850 円 ② 12,900 円 ③ 12,950 円 ④ 13,000 円

問 44. この都市の 20X3 年度の稼働客室 1 室あたりの平均宿泊者数 (Double Occupancy Rate または同伴係数ともいう) に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 1.25 ② 1.30 ③ 1.35 ④ 1.40

問 45. この都市の 20X3 年度の平均客室面積はどれか。各ホテルの客室数も考慮に入れた加重平均値に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 22 m² ② 23 m² ③ 24 m² ④ 25 m²

問 46. この都市の 20X3 年度の A ホテルの配賦後 GOP に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 12.5 億 ② 12.6 億 ③ 12.7 億 ④ 12.8 億

問 47. この都市の 20X3 年度の C ホテルの宿泊部門の配賦前 GOP の損益分岐点に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 560 百万 ② 570 百万 ③ 580 百万 ④ 590 百万

問 48. この都市の 20X3 年度の A ホテルの料飲部門の配賦前 GOP の損益分岐点は B ホテルのそれと比較した場合におよそ何倍か最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 0.3 倍 ② 1.3 倍 ③ 2.3 倍 ④ 3.0 倍

問 49. この都市の 20X3 年度の B ホテルの共通配賦費用はすべて固定費だが、共通配賦費用額が宿泊・料飲部門で折半されとした場合に、このホテルの配賦後 GOP の損益分岐点に最も近い値を選びなさい。(配点:3 点)

- ① 30 億 ② 31 億 ③ 32 億 ④ 33 億

問 50. この都市の全 3 ホテルの宿泊部門変動費はエージェント手数料とその他（客室清掃費、客用消耗品費、リネン、他）で構成されている場合、どのホテルに対してもエージェント手数料は一律 15%でエージェント依存率が 80%とした場合、A ホテルの稼働室あたりの宿泊部門その他変動費はいくらか。最も近い値を選びなさい。(配点:3 点)

- ① 4,000 円 ② 4,200 円 ③ 4,400 円 ④ 4,600 円

問 51. この都市の 20X3 年度に、感染症により料飲部門の売上が全ホテルにおいて 0 になり、レストラン部門の固定費と共通配賦費用（全額固定費）の合計額は表中の料飲部門の固定費と同額とした場合、宿泊部門売上が 20X3 年度売上の 3 分の 1 になっても、ホテル全体の配賦後 GOP が黒字になるホテルを選びなさい。ただし限界利益率は変化しないものとする。(配点:3 点)

- ① 該当なし ② C ③ B と C ④ A

問 52. 上記の問 51 の場合に、全 3 ホテルの配賦後 GOP が黒字化するためには 20X3 年度の表中の宿泊売上はおよそ何倍にならなければならないか。(配点: 2 点)

- ① 0.4 倍 ② 0.9 倍 ③ 1.7 倍 ④ 2 倍

問 53. 20X4 年度初日に 500 室の D ホテルが新規参入した。同都市における 20X4 年度の需要客室数が前年度と変化がない場合は、ホテル A、B、C の 3 ホテルの平均稼働率は、およそどれだけ減るか。なお、D ホテルの初年度稼働室数は 16 万室である。(配点: 3 点)

- ① 10% ② 20% ③ 30% ④ 40%

問 54. C ホテルと D ホテルの料飲部門は宿泊者のみを対象とした朝食営業のみの営業である。C ホテルの単価は一律 1,000 円である。20X3 年の C ホテルと 20X4 年のホテル D の喫食率が同じ場合に D ホテルの朝食単価に最も近い値を選びなさい。なお、D ホテルの初年度宿泊人数は 21 万人で、料飲売上は C ホテルの 20X3 年度と同額である。(配点: 3 点)

- ① 1,000 円 ② 1,024 円 ③ 1,048 円 ④ 1,072 円

問 55. 問 50 までの前提において、A ホテルは 20X5 年度当初から外資ホテル運営会社に運営委託をすることとした。運営手数料は売上比 1%ベースフィーに宿泊部門配賦前 GOP の 10%インセンティブフィーである。これらのフィーは宿泊部門の配賦前 GOP の後に控除される。また別途年間システム料として 1 千万円が固定費として計上される。一方でエージェントなどへの依存率は 80%から 20%となった。他の条件は 20X3 年度と変わらないとした場合、GOP 運営委託手数料控除後の宿泊部門の配賦前 GOP は、以前と比べて凡そどの程度変化するか。(配点:3 点)

- ① 74 百万円減る ② 殆ど変化しない ③ 74 百万円増える ④ 1.5 億円増える

問 56. 上記の問 55 において、外資ホテル運営会社に A ホテルを運営委託することとした場合の宿泊部門の運営委託手数料控除後で配賦前 GOP の損益分岐点は、委託しない場合の宿泊部門の配賦前 GOP の損益分岐点と比較して、どの程度変化するか。(配点: 2 点)

- ① 1 億円減る ② 殆ど変化しない ③ 1 億円増える ④ 2 億円増える

問 57. 上記の問 55 および 56 での収益構造を前提とした場合、A ホテルの経営者として外資ホテル運営会社に A ホテルを運営委託するという決断は、今後の宿泊部門の年間売上が従来と比べて凡そどのように変化するという見込みの場合か。ただし、運営委託しても料飲部門の収益には影響のないものとし、宿泊部門配賦前 GOP が赤字の場合は、インセンティブフィーは支払われず、逆に宿泊部門配賦前 GOP 赤字分の 10%が運営会社より補填されるものとする。(配点: 2 点)

- ① 50%以上減る ② ほとんど変化しない ③ 100%以上増える ④ 増減にかかわらず委託する

【表 2】20X4 年度の C・D ホテルの客室タイプ別営業状況

ホテルC (室売上単位：千円)	平日 265 日					休前日 100 日					通年 365 日				
	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)
シングル 540室	140,238	140,238	98.0%	1,402,380	10,000	37,862	37,862	70%	302,896	8,000	178,100	178,100	90%	1,705,276	9,575
ツイン 60室	15,900	30,421	100.0%	206,700	13,000	6,000	11,480	100%	88,024	14,671	21,900	41,900	100%	294,724	13,458
合計 600室	156,138	170,659	98.2%	1,609,080	10,305	43,862	49,342	73.1%	390,920	8,912	200,000	220,000	91.3%	2,000,000	10,000

ホテルD (室売上単位：千円)	平日 265 日					休前日 100 日					通年 365 日				
	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	室売上(千円)	ADR(円)
シングル 400室	84,800	84,800	80%	1,017,600	12,000										
ツイン 100室	26,500	62,801	100%	397,500	15,000			100%							
合計 500室	111,300	147,601	84.0%	1,415,100	12,714						160,000	210,000	87.7%	2,200,000	13,750

問 58. 【表 2】において、20X4 年度の 365 日を平日 265 日と休前日（祝日、年末年始、お盆期間等含む）100 日と大別した場合、C ホテルの稼働状況は上記の通り、前年度と同じであった。D ホテルの実績が上表の通りの場合、D ホテル全体の休前日の稼働率に最も近いものを選びなさい。（配点:3 点）

- ① 93% ② 95% ③ 97% ④ 99%

問 59. 【表 2】と問 58 の前提において、D ホテルのシングルルームの休前日の稼働率に最も近いものを選びなさい。なお、D ホテルの休前日のシングルの ADR は 11,000 円とする。（配点:3 点）

- ① 97% ② 95% ③ 93% ④ 91%

問 60. 問 59 の前提において、D ホテルのツインルームの休前日の ADR に最も近いものを選びなさい。（配点:3 点）

- ① 24,000 円 ② 30,000 円 ③ 36,000 円 ④ 42,000 円